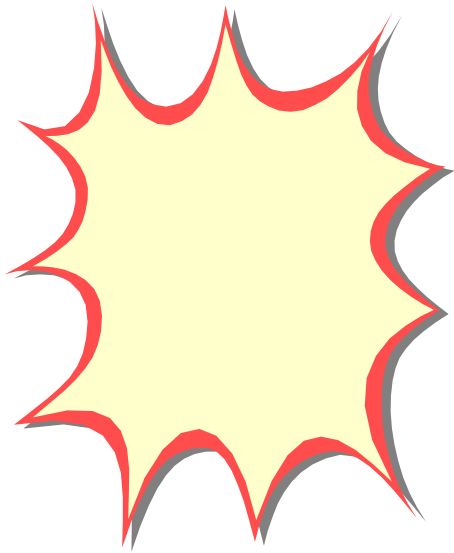


5・29法大デモへ



文化連盟委員長・武田雄飛丸

弾圧をやめろ、ダフルスタン
ダードのくびきを止めて



法大総長・田中優子

一生はいつてろ、文化連盟

田中優子は武田君を返せ！

○武田君への勾留延長弾劾！

みなさん！ 5月13日の「器物損壊」による不当逮捕以来、いまだに武田君は麹町署に囚われています。

公安警察は「取調べ」と称して、武田君の文化連盟としての行動や個人的な趣味、「運動をやめろ」という転向強要など、容疑とは一切関係のないことを聞こうとしています。武田君は、こんな連中にどんなささいな情報も渡さず、仲間と自分を守るために完全黙秘を続けています。

5月22日に行われた勾留理由開示公判では、裁判所は武田君が黙秘していることを理由に「住所不定」とし、「逃亡のおそれがあるから」武田君を勾留する必要がある、などと述べていました。しかし翌日23日の朝、公安警察は武

田君の自宅に家宅搜索をかけました。「住所不定」じゃなかったのか！

「現行犯」だとしながら、容疑の内容も言わない事実上の拉致（動画→<http://www.youtube.com/watch?v=NHxnv62mmiI>）といい、今回の不当逮捕は武田君を閉じ込めておくためだけの、本当に不当な政治弾圧であることは完全に明らかです。

○元凶は法政大学総長・田中優子

武田君への勾留状には「法政大学が所有し、総長田中優子が管理するカメラ（時価1万円相当）」が「損壊した」とあります。親告罪である「器物損壊」容疑が成り立ち、

武田君を返せ！5・29法大デモ

◆日時：5月29日 12時40分～集合 13時～デモ出発

※デモは武田君が勾留されている麹町署前を通ります。

◆場所：法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎門前

◆終了予定：14時



文化連盟

無罪の法政大学文化連盟

メール：bunren08@yahoo.co.jp

HP：<http://08bunren.blog25.fc2.com/>

武田君が勾留されるためには法大総長・田中優子が公安警察に積極的に協力して「被害届」を提出しなければなりません。

2009年、当時の文化連盟および全学連の中心人物が「法政大学の看板を壊した」として一斉逮捕された、「暴力行為等処罰に関する法律」（暴処法）による弾圧は5年もの裁判を経て、今年2月27日に完全無罪判決が確定しました。文化連盟は田中優子総長の就任以来、この件についての内容証明付質問書を5度にわたって出しましたが、すべて「受取拒絶」。田中優子は「広報活動を強化するために」総長に就任したといい、その言葉どおり多くの雑誌に登場し、そのことを法政大学のHPにも載せています。その一方で、無罪を追及されることにはノーコメントを貫いています。

文化連盟の無罪には口をつぐみながら、日常的な監視など弾圧に従事する教授には3万円の手当てを出しているのに、そのために使われている「時価1万円のカメラ」が「壊れた」と勝手に被害者ヅラ！

こんなやつの下で、私たち学生はいったいどんな学問を教わるのか。絶対に許せません。

英字新聞 The Japan Times 4月28日付にも無罪の記事が登場。法政大学は同紙のインタビューにもコメントを貰った。http://oshunren.blog25.fc2.com/blog-entry-1003.html



※武田君が「壊した」とされているカメラ。法政大学は武田君の処分撤回裁判でこの業務について無関係だと主張している。今回、武田君を逮捕させるために突然「法政大学が所有し、総長田中優子が管理するカメラ」だと主張。

大学が研究所ではなく「大学」と呼ばれるのは、まさしく私たち学生が「いかに生きるのか」を決めるための場所だからじゃないでしょうか。学生を「巻き込まれる」存在とし、ビラを読む権利ですら妨害する、本当に学生の主体をナメている大学など学生の行動でひっくり返すべきです。

〇5・29法大デモに集まろう！



4月25日の法大集会の様子

〇大学の主人公は学生だ！

田中優子総長は「戦争させない1000人委員会」の呼びかけ人、「脱原発エネルギー推進会議」賛同人、秘密保護法に公式に反対・・・などなど、世間的には「左翼」「リベラル」といわれる人物です。しかし、田中優子総長の本性は武田君への不当逮捕で完全に明らかです。

これから先の時代を生きていく私たち学生にとって重要なのは、「誰に生き方を決めてもらうか」ではなく「自らの行動で生き方を決めていく」ことだと思います。

武田処分撤回裁判

日時：6月13日 午後4時
場所：東京地裁615法廷

処分撤回署名にも、ぜひご協力お願いします！



4月25日に行われた法大集会は、法大生を先頭とする全国の学生の力で法大当局の「外濠門封鎖決定」を覆しました。「行動したって変わらない、より不利な扱いを受けるだけ」・・・「常識」は打ち破られました。小さなことかもしれませんが、しかし学祭規制をはじめ毎年強化されていく規制は「しかたない」ものではないのです。

今回の武田君への不当逮捕は、この学生の力に恐怖した法大当局・国家権力による、武田君を「見せしめ」にしたすべての学生への脅しです。

ゆえに、田中優子の狙いを打ち砕く最大の反撃は学生がさらに団結して行動することです。

安倍政権は「残業代ゼロ」や「限定正社員の導入」によっていっそう労働者民衆を搾取することで「経済成長」しようとしており、そのために「大学改革」が焦点だとしています。学生を沈黙させる大学と、労働者の沈黙を背景にやりたい放題のブラック企業は一体です。戦争への全国民の動員はこうやって進むのです。

5・29法大デモへ！ 共に武田君を取り戻そう！